

三浦市公共下水道事業におけるコンセッション方式導入の検討状況について

1. 検討の背景

公共施設等運営権(コンセッション)方式とは、公共が施設所有権を有したまま、事業運営権を事業者を設定する方式。三浦市の公共下水道施設は本格的な更新期を迎えており、限られた使用料収入や市役所職員のみならず、民間事業者の資金やノウハウの活用が必要不可欠であることから、コンセッション方式の導入検討を平成27年度から開始した。

2. 検討の経緯

これまで国交省や内閣府の補助金を活用しながら、コンセッション方式導入に必要な基礎調査や検討を進めてきた。令和2年5月には、建設技術研究所とアドバイザー契約を締結しており、実施方針案等の公表に向け準備中。

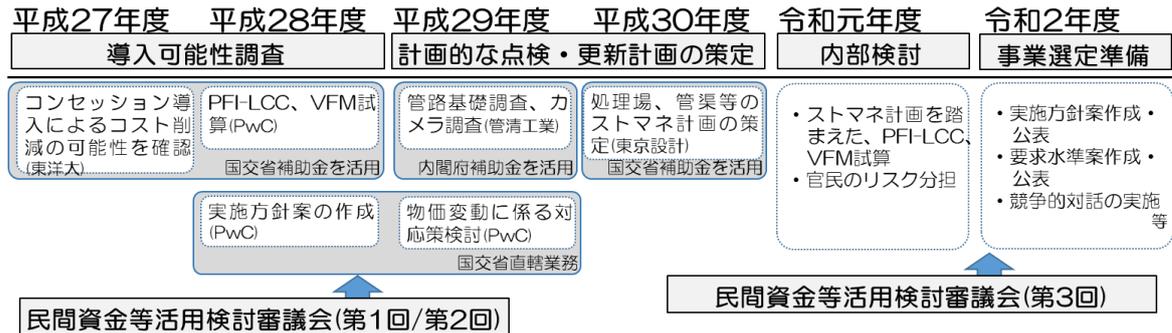


図1 コンセッション導入に向けたこれまでの検討

3. 中長期的な整備方針の検討

事業期間内において、コンセッション事業者が自律的かつ計画的に施設の点検・更新を行うためには、公共側の考える中長期的な整備方針(ストックマネジメント計画)案を予め示す必要がある。下水処理施設の運営にあたっては、『汚水処理機能の継続』を最重要として、事業着手の手順を検討した。処理機能の根幹に関わる機械・電気設備は、機能不全に陥る前に長寿命化(機器更新等)対策を実施し、処理機能への影響が比較的少ない土木、建築設備及び管渠については、限界まで使用する事後保全とした。上記、基本的な考え方に加え、単年度での執行可能額、及び発注可能数量(キャップ)等の観点から工事を平準化し、設備毎の中長期整備方針案を決定した(表1 着色箇所)。

	機械・電気		土木	建築	管渠	
	キャップなし	キャップあり	躯体	外装・内部防食	キャップなし	キャップあり
ストマネ Case1	標準耐用年時点で改築 381億円/100年	-	目標耐用年数 時点で改築	-	標準耐用年時点で改築	-
ストマネ Case2	-	費用固定 (0.69億円/年)	健全度Iが純増。機能維持が不可。	-	健全度IIが純増。100年後には、全延長の半分が劣化区間 重症箇所のみ改築	-
ストマネ Case3	機能不全 時点で改築	-	-	機能不全 時点で改築	重症・中症箇所を改築	-
ストマネ Case4	機能不全前に長寿命化 188億円/100年	-	-	-	-	費用固定 (1.1億円/年)
ストマネ Case5	-	機能不全前に長寿命化 (2億円/年)	-	-	-	費用固定 (0.9億円/年)
中期対応	-	健全度が3.0を下回る前に長寿命化対策を実施。年度ごとの費用は2億円を上限とする	目標耐用年数の前後において機械・電気の少ない時期に実施する	健全度が2.0を下回った時点で改築を実施する。年度ごとの費用は機電・土木とあわせ3億円を上限とする	-	緊急度IIに達した時点で修繕・長寿命化対策を実施。年度ごとの費用は1.1億円を上限とする。

表1 工事の平準化等を踏まえた整備の考え方

4. 下水道使用料値上げ検討

東部処理区域内の処理人口は、令和4年度の1万2千人から令和24年度には8千人まで減少するため、使用料収入も目減りする見込み。一般会計繰入金を現行水準の6.4億円としつつ、上記の中長期的な整備方針に基づく更新・維持管理を実施するためには、20年間で約7億円不足する見込みとなっており、20か年で26.2%（令和4年度から4年ごとに4.4%）の使用料値上げが必要という結果となった。

（単位：百万円）

	R4-R7	R8-R11	R12-R15	R16-R19	R20-R23	R24-R27	合計(平均)
歳出計	1,157	989	945	940	947	945	5,923(987)
歳入計 下水道使用料	997	944	893	843	790	744	5,211(869)
不足額	-160	-45	-52	-97	-157	-201	-712(-119)

処理人口	12,000人 (R4)	11,000人 (R8)	10,000人 (R12)	9,500人 (R16)	8,500人 (R20)	8,000人 (R24)	-
必要となる値上率 (累積値)	4.4%	8.8%	13.2%	17.6%	22%	26.2%	26.2%
世帯平均	3,600円	4,000円	4,400円	4,500円	4,900円	5,200円	-

5. コンセッション事業費の官民分担の最適化及び一般会計繰入金の削減効果検証

一般会計繰入金を最小とする官民分担案を作成した。財務シミュレーションの結果、一般会計繰入金の抑制、市起債残高の削減が見込まれ、市職員数もコンセッション実施により削減できることから、10月に予定している審議会に諮ることとした。

		市	コンセッション
利用料金割合	少ないほうがいい	—	79%~ 83.5%
改築更新費負担割合	多いほうがいい	—	0%
コンセッション終了時の 市起債残高	少ないほうがいい	19億円	18億円
一般会計繰入金	少ないほうがいい	61億円	59億円
	基準内	55億円	53億円
	基準外	6億円	6億円
職員数		10人	7人

6. 今後のスケジュールについて

令和2年 8月 民間事業者ヒアリング開催
 令和2年10月 審議会開催
 令和2年10月 実施方針(案)、要求水準書(案)の公表
 令和3年 6月 募集要項の公告
 令和3年11月 参加表明書、参加資格確認申請書の受付
 令和3年12月 参加資格確認結果の通知
 令和4年 4月 提案書類の受付
 令和4年 7月 優先交渉権者の決定
 令和4年11月 公共施設運営権設定、実施契約の締結
 令和5年 4月 事業開始